

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和7年3月

法人名	(有)池ちゃん家・ドリームケア	代表者	殿岡 裕	法人・事業所の特徴	目配り・気配り・心配りの介護をモットーに、ご家族様と一緒に少しでも長く在宅生活が送れるようお手伝いいたします。
事業所名	小規模多機能ホーム「池ちゃん家」藤枝	管理者	長島真美		

出席者	市町村職員	知見を有する人	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	4人	0人	2人	1人	0人	4人	0人	11人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	より高い位置での介護技術のレベルアップをしていく	今年新入社員で入ってきた職員もいるため介護技術の勉強会を開催し教える側も再度認識することができた。 10月のカンファレンスで自己評価を行い11月のカンファレンスで事業所評価に取り組んだ。	介護技術だけではなく認知症や他の事についての知識や技術も深めていきたい。 地域かかわりシートA-1の常勤職員が誰なのか記載が分かりにくかった。	知識、技術の習得をしていく 相手の立場に立って行動し自身の行動を振り返る
B. 事業所のしつらえ・環境	毎月利用者さんと一緒に作り上げている掲示物を、交流センターを訪れる方達に見ていただけるようにより力を入れて行きます	掲示物は利用者さんと一緒に作り上げることが出来ている。	掲示物を何か所も作成するのは大変。 交流センターのふれあいまつりに向けて1年かけて一つの作品を作って行きたい。	ふれあいまつりに向け一つの作品作りに力を入れていく
C. 事業所と地域のかかわり	規制のかかる中でも可能な限り地域の行事への参加を増やして行きたい	ふれあいまつりや地域の夏祭りに参加できて良かった。	夏祭りに参加してもらって良かった。また機会があれば声を掛けさせてもらう。 運営推進会議や用事があって行った時も職員は挨拶をしてくれている。	地域の行事に積極的に参加していく 地域や家族に向けてアンケートをとり意見を取り入れていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ふれあい祭に参加するために計画を立てて作品作りをして、利用者さんと一緒に発表の喜びを感じて行きたい	今年のふれあいまつりにも作品を出させていだいた。 毎年、交流センターのふれあいまつりに出品させてもらっているため皆で作品について意見を出し進めている。	外食ツアーに出掛けたり外出し利用者さんを楽しませてくれている事が分かる。是非機会があればまた連れて行ってもらいたい。皆さんよくやってくれていると思う。 地域かかわりシートD-4近所の心配な方に事業所が関わっているかについて判断が難しい。	本人、家族の要望に応じて楽しみを持ち生活できるようにしていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	介護現場での実情をお話したり、厚労省からの発信をお知らせすることで高齢者施設を身近に知っていただく	2ヶ月に1回資料を作成し分かり易いよう説明をしている。 家族を招き意見を聞き共有している。 包括支援センターからの情報を他事業所に情報共有している。	新聞や資料がありとても分かり易い。口頭で事故やヒヤリハット等も詳しく説明してくれていると思う。 地域かかわりシートE-2事例検討までは個人情報の観点から難しいと思う。	運営推進会議には全職員が参加し顔の見える関係作りをしていく
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議の時に、避難訓練への参加をお願いし日ごろの訓練を知っていただくとともに、防災知識の共有をしていく	消防署職員を招き地域の方や包括支援センターの方、家族も含めて防災訓練に取り組むことが出来た。 ライブ119を初めて実施することができた。	訓練している様子も分かるので継続していただければと思う。	毎月の防災訓練を実施し年2回は地域の方等に参加していただき避難誘導の方法を知ってもらう。 また防災知識の共有をしていく